



八戸短大・田端教授がCD制作

新郷の小中学校校歌収録

廃校分もパソコンで再現

須藤良美村長(右)に小中学校校歌などを収録したCDを手渡す田端利則教授

八戸短大幼児保育学科の田端利則教授が、新郷村の小中学校の校歌などをまとめたCDを制作した。現存の学校だけでなく、廃校になった学校の校歌も再現して収録。田端教授は17日、村役場に須藤良美村長を訪ね、CDを寄贈した。

CDの編集作業は、八戸大・八戸短大総合研究所の地域力再生・創出資源調査分析業務事業の一環。同村にはかつて小学校7校、中学校4校があったが、児童数の減少に伴って現在、それぞれ2校ずつとなっている。

田端教授は現存する小中学校の他、廃校になった学校の校歌の楽譜を基に、パソコンを使って曲を再現。校歌の無かった小坂小などで歌われていた「新郷村学校歌」や、同村出身で元八戸大准教授の坂本悦雄さんが作詞、北上夜曲などで知られる故安藤睦夫さんが作曲した「新郷村賛歌」も収録している。

村役場での贈呈式で田端教授がCD10枚を須藤村長に手渡した。須藤村長は「貴重な資料になる。懐かしむ人も多いと思うので、イベントの際に使わせてもらいたい」とお礼を述べた。

(鴨沢宏平)